

長崎港・佐世保港の 日本海側拠点港の形成に向けた計画書 ～「新アジア軸」の構築を目指して～

【国際定期旅客機能】

長崎港



佐世保港



長崎港港湾管理者(長崎県)・佐世保港港湾管理者(佐世保市)

国際定期旅客機能の充実(長崎港)

背景

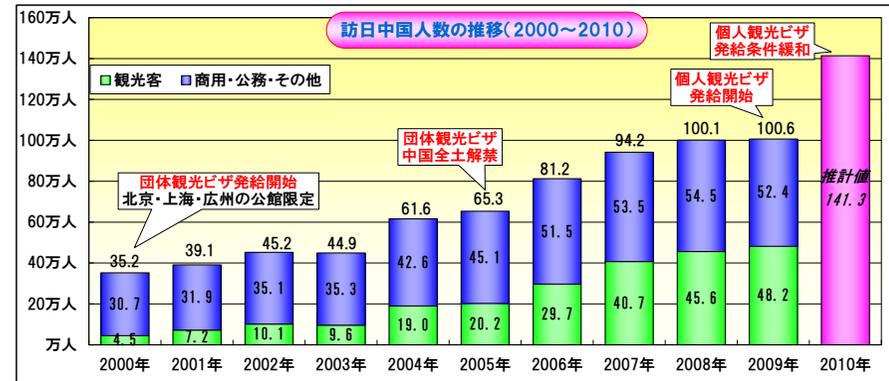
- 中国の経済発展と、日中間の交流促進に向けたさまざまな施策展開により、中国からの観光客が急増
- その交通アクセスは、航空機やクルーズ船に限られている
- 本県への中国人入国者数は、年間約1万人程度で推移しており、全国平均比約1%と非常に少ない

課題

- 日本～中国間の交通アクセスが不便
航空路:長崎空港～上海空港の週2便
海上路:不定期な上海発着のクルーズ客船のみ

今後の旅客航路戦略

- 今後も増加が見込まれる中国人来訪者へ対応するためには、千人規模を超えるような大量で安価な輸送が可能な定期旅客船航路の開設が有効である
- 長崎港は、日本で一番中国に近いという地政学的な優位性がある
- 上海市は、経済発展著しい中国にあって最もGDPが高い都市である
- まずは上海市から長崎の魅力中国国内に広め、中間層などの新たな旅行者の開拓を図る
- 同時に長崎港における万全の受入れ体勢を整えることで中国からのインバウンド観光の促進を図る



中国とのゲートウェイ機能の強化

新成長戦略に寄与

国際定期旅客機能の充実(佐世保港)

背景

- 韓国、日本ともに高速鉄道網が整備され、交流人口が増えることで、今後も韓国からの訪日観光客は増える
- 訪日韓国人数の約2割が九州から入国し、そのほとんどが福岡市に集中している
- 本県に直接入国する韓国人は、年間約6.5万人程度で推移しており、全国平均約3%と非常に少ない

課題

- 長崎～韓国間の交通アクセスが不便
航空路:長崎空港～仁川空港が現在運休中
海上路:離島から釜山のみで、本土との直行便はない
- 帰国時に入国した港に再び戻ることで、移動に要する時間や経費が必要となっている



今後の旅客航路戦略

- 長崎県における韓国人観光客は増加傾向にあり、韓国人が好む観光施設が豊富にある本県の特徴をさらに充実させることで、韓国人観光客が今後も増える
- 出入国の往復別ルートが実現することにより、韓国人の旅客や旅行会社にとっても魅力が高まる
- 同時に佐世保港における万全の受入れ体勢を整えることで韓国からのインバウンド観光の促進を図る

韓国とのゲートウェイ機能の強化

新成長戦略に寄与

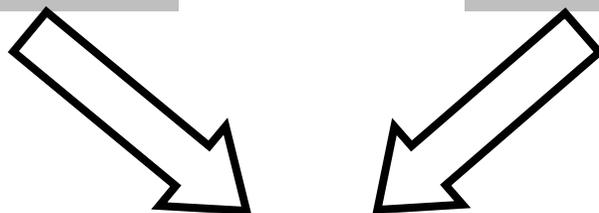
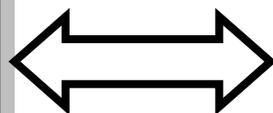
計画の目的①

【長崎港】

◆本年の上海航路の復活を期に、同航路の安定就航と発展により、**中国とのゲートウェイ機能の強化を図る。**

【佐世保港】

◆2014年釜山との間に定期旅客航路を開設し、その就航と発展により、**韓国とのゲートウェイ機能の強化を図る。**

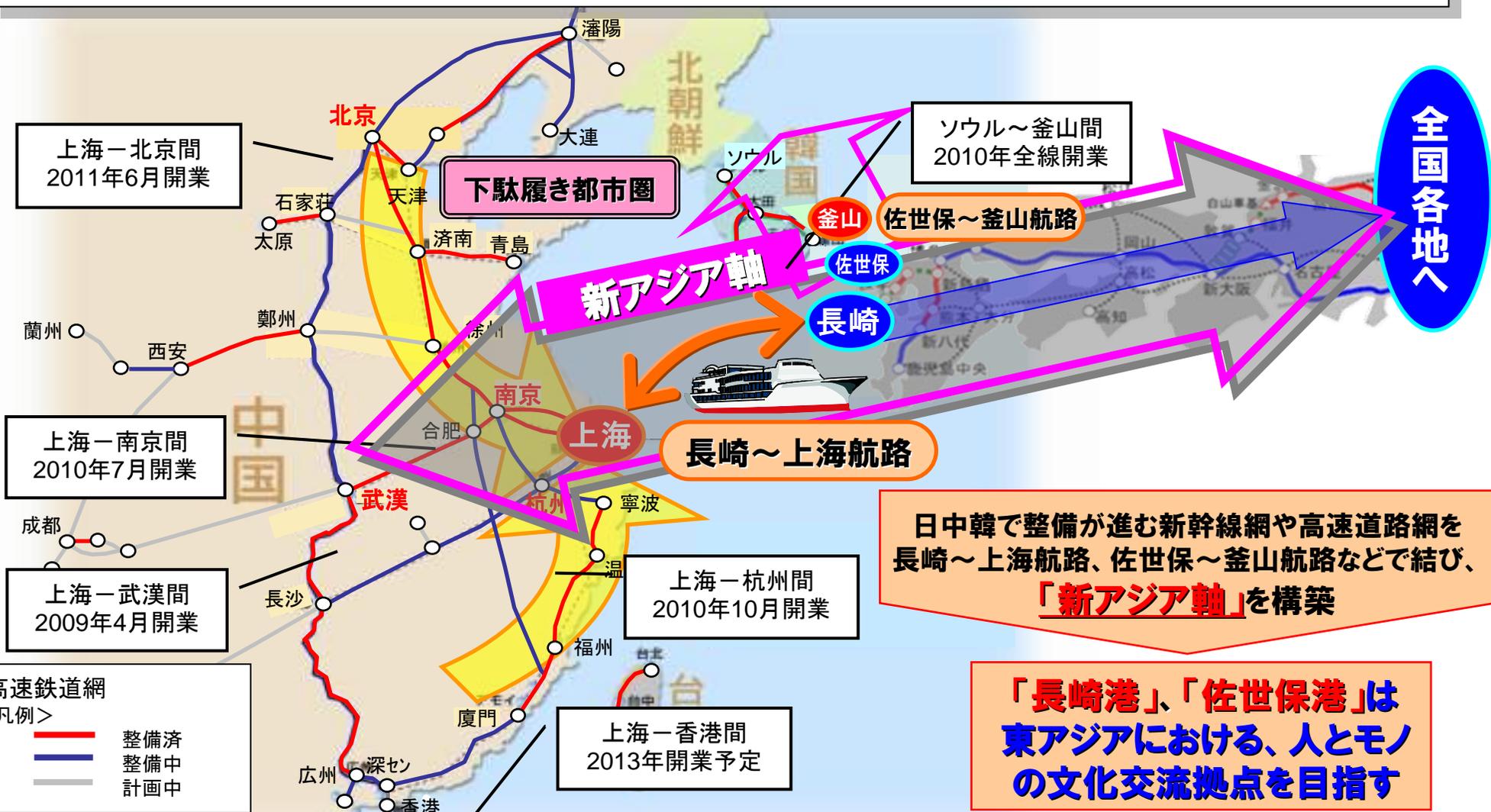


交流のトライアングル上海～長崎県～釜山間

【長崎県】

◆さらに中国との交流を促進するため、長崎港・佐世保港ともに中国沿岸主要都市との間に新たな定期旅客航路を開設させ、長崎県を東アジアとのゲートウェイとする「**新アジア軸**」の構築を目指す。

◆新アジア軸の構築



計画の目標

【長崎港】

◆2015年の目標

○長崎～上海間の定期旅客船航路のデイリー就航

◆2025年の目標

○長崎～青島間の定期旅客船航路の開設

○長崎～福州間の定期旅客船航路の開設



釜山

【佐世保港】

◆2015年の目標

○佐世保～釜山間の定期旅客船航路の就航

◆2025年の目標

○佐世保～青島間の定期旅客船航路の開設

○佐世保～大連間の定期旅客船航路の開設



青島



上海



福州

国際定期旅客機能を確保するための条件及び優位性①

- ◆日本で最も中国・韓国(アジア)に近いという地理的優位性(必然性)から、定期旅客航路の開設には最も適した地域であり、その継続的な維持は可能である。
- ◆鎖国時代の海外貿易港から西洋と中国の文化が流れ込み、長崎独自の文化の形成へ繋がっている。

地理的な優位性

中国	九州	距離 (km)
上海港	長崎港	782
	博多港	861
	鹿児島港	910
青島港	長崎港	1,014
	佐世保港	977
	博多港	1,019
	鹿児島港	1,254
福州港	長崎港	1,282
	博多港	1,510
	鹿児島港	1,309
大連港	佐世保港	1,105
	博多港	1,138

中国と韓国文化との交流



新地中華街



ちゃんぽん



龍踊り

旅客にウェイトを置く我が国初の本格的な日中韓国際定期航路

国際定期旅客機能を確保するための条件及び優位性②

◆上海市の優位性

中国で最もGDPが高い。14,901億元(約18兆円)

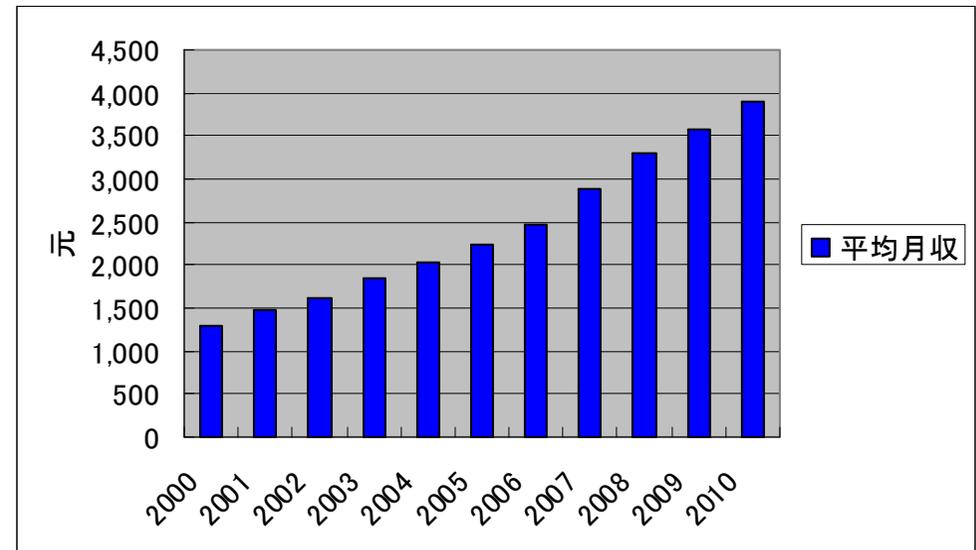
人口は1,921万人で第2位。東京都と比べ約1.5倍・大阪府の約2.2倍の人口を有している。

中国で最も平均月収は右肩上がり。2011年対2000年は、約3倍

貿易額は、2,777億ドル(約22兆円)。対日輸出は160億ドル(約1.2兆円)。



【上海市の平均月収は右肩上がり】



中国で経済・人口ともに大規模で成長が見込める都市へ就航

国際定期旅客機能を確認するための条件及び優位性③

◆釜山港との関係における優位性

訪日外国人に占める韓国人の割合は最も多く、今後も九州への訪日韓国人は十分見込まれる。
釜山港再開発、ウォーターフロント開発、KTX(韓国高速鉄道)の開通 →釜山港を拠点とした人流増加
佐世保港周辺にはハウステンボスをはじめとする、韓国人が好む観光施設が豊富にある。

特定国からの訪問の多い都市・観光地(2009年) (単位: %)

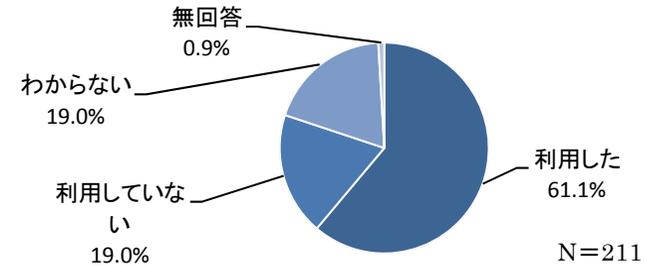
	韓国		台湾		中国		香港	
	構成比	訪問率	構成比	訪問率	構成比	訪問率	構成比	訪問率
下関	58.8	0.5	8.8	0.1	11.8	0.2	0.0	0.0
福岡市	58.0	19.0	10.5	5.6	7.2	4.2	3.7	4.1
北九州・スペースワールド	51.2	1.7	18.2	1.0	7.4	0.4	5.0	0.5
太宰府	70.3	3.1	20.0	1.4	3.0	0.2	1.2	0.2
別府	64.2	5.9	5.3	0.8	3.8	0.6	4.4	1.4
湯布院	71.5	4.4	18.9	1.9	1.3	0.1	4.4	0.9
ハウステンボス	58.5	2.5	27.7	1.9	3.1	0.2	6.3	0.9
熊本市	52.5	4.2	14.4	1.9	6.4	0.9	4.3	1.2
阿蘇山	59.6	4.8	20.2	2.7	3.6	0.5	4.6	1.3
夕張	7.1	0.1	66.7	1.2	11.9	0.2	7.1	0.3
大沼	11.1	0.1	61.1	1.0	11.1	0.2	5.6	0.2
層雲峡						0.5	17.4	1.9
帯広・十勝川・池田町						0.0	20.5	1.5
阿寒・摩周・屈斜路						0.5	11.5	1.0
網走						0.3	17.6	1.4



© ハウステンボス/J-13984

韓国からのハウステンボス観光客59%

「釜山港～佐世保港のフェリーの利用意向に関するアンケート」2008年10月



Q もし佐世保～釜山間のフェリーが就航していたら
利用していたか

釜山航路の利用意向61%

韓国人が訪れたいまち「佐世保」がある

国際定期旅客機能を確認するための条件及び優位性④

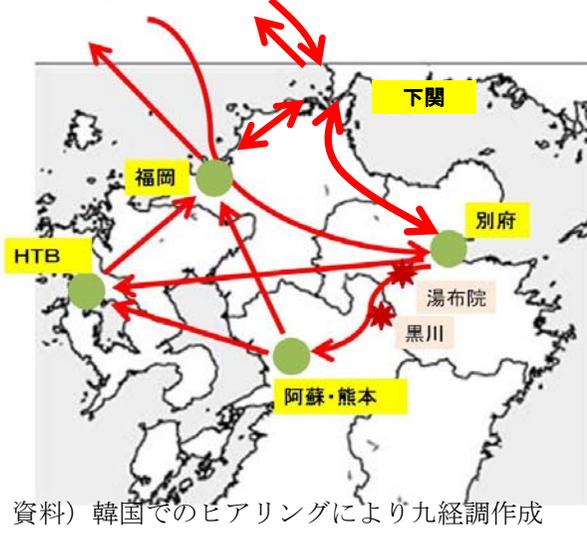
◆九州北部回遊ルート形成

佐世保～釜山航路は、下関～釜山航路と同一の会社の運航であるため、

下関in ~ 佐世保out
佐世保in ~ 下関out

といった往復別ルートでの割引が可能となる。往復別ルートの実現により、帰国時に入国港に再び戻る移動時間のロスや移動経費が削減され、韓国の旅客や旅行会社にとっても魅力的で、同時に旅客需要の増加にも繋がる。

韓国旅客の九州における一般的な観光ルート



資料) 韓国でのヒアリングにより九経調作成

◆安定就航のための具体的な戦略

◎佐世保市のアジアに向けた国際戦略

- ・観光プロモーションの推進
- ・観光客受け入れ態勢の整備
佐世保市外国人観光客ウェルカム協議会など

◎修学旅行、教育旅行、学習旅行の誘致

◎キリスト教会群の活用

- ・韓国人向けのPRなど

◎エコツーリズム・グリーンツーリズムの誘致

◎将来に向けたフェリー貨物拡大の取り組み

- ・定期航路の強みを生かし、高速道路と連携したアジア、韓国との高速輸送が可能となる。

[ホットデリバリーサービス等]

- ・県内水産品の輸出入促進

計画の具体的な内容①(長崎港)

長崎県における人流の課題を解決するためには、航空機ではなし得ない、大量かつ安価、そして安定した輸送体制を中国との間にダイレクトに結ぶ必要がある。よって、長崎港においては長崎～中国間に定期旅客航路を開設し、その安定就航と発展を目指すものである。

片道 約7,000円



国際フェリーのイメージ図

長崎の情報発信



長崎の情報を上映



各地の出張出演



各種イベント



物産PR

ローコスト・エンターテインメント・シップの運航

今後のアジアからの集客拡大を目指し、エンターテインメント施設を充実させた低価格旅客船

計画の具体的な内容③(佐世保港)

- 長崎県における人流の課題を解決するためには、航空機ではなし得ない、大量かつ安価、安定した輸送体制を確立し、ダイレクトに結ぶ必要がある。
- 佐世保港においては、まず平成26年春の佐世保～釜山航路開設、次の展開として佐世保～青島、佐世保～大連との間に定期航路を開設するものである。

佐世保～釜山航路開設のための経緯と今後の予定

◎これまでの経緯

- ◆平成19年 7月 長崎県から釜関フェリー(株)へ航路開設の提案
- ◆平成20年 1月 了解覚書(MOU)の交換(長崎県、佐世保市、釜関フェリー(株))
- ◆平成20年 4月 CIQ機関とターミナル関連協議
- ◆平成21年 2月 了解覚書(MOU)の更新
- ◆平成21年10月 釜山にて佐世保港貿易振興協議会と釜関フェリー(株)の協議
- ◆平成22年 1月 了解覚書(MOU)の更新
- ◆平成23年 7月 釜関フェリー(株)から『確実に就航する』旨の連絡
- ◇平成20年 4月～平成23年 6月
釜関フェリー(株)社長と佐世保市長会談 計6回



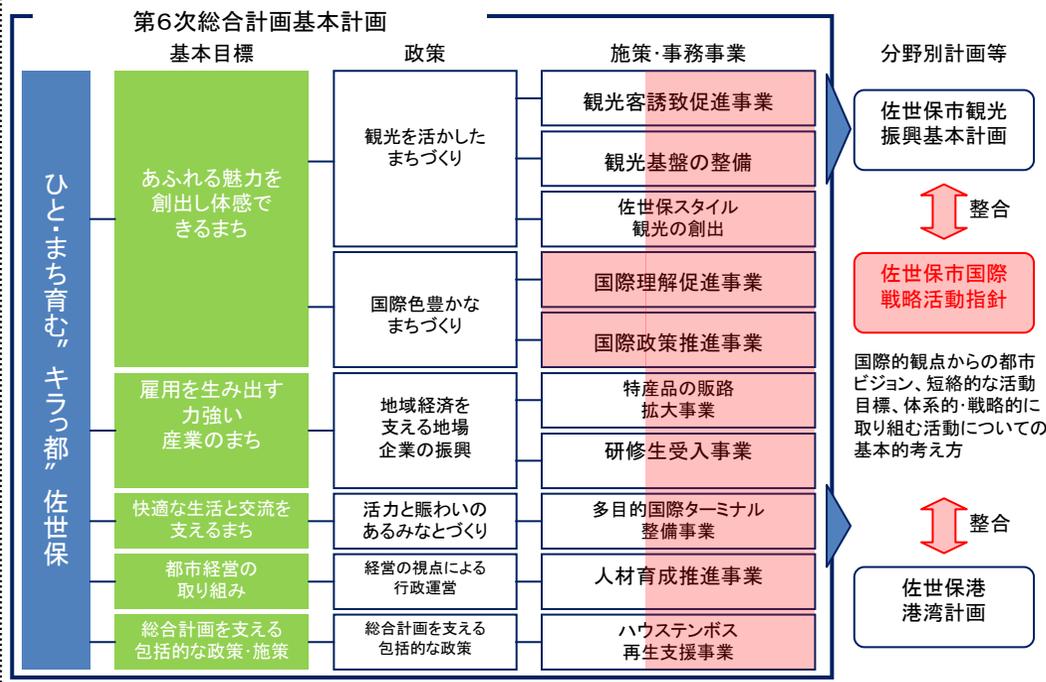
国際フェリーのイメージ図(釜関フェリー(株)が現在運航している下関から釜山港に就航している船舶抜粋)

計画の具体的な内容④(佐世保港)

- 1) 佐世保～釜山航路の開設と外航クルーズ船の受け入れのための三浦地区多目的国際ターミナルの早期完成(ハード)
- 2) 既存施設「新みなと岸壁」の利用促進と「浦頭岸壁」の受け入れ体制の強化(既存施設の活用)
- 3) 「佐世保市国際戦略活動指針」のもと協議会を設置し、受け入れ体制の整備や観光PRを実施(ソフト)

○ソフト対策

佐世保市国際戦略活動指針の位置づけ



○ハード対策

64億円で国際港整備

東アジアとの結び付き強化

水深10m超14年開港へ

三浦上屋ターミナルに改修

佐世保市の三浦岸壁

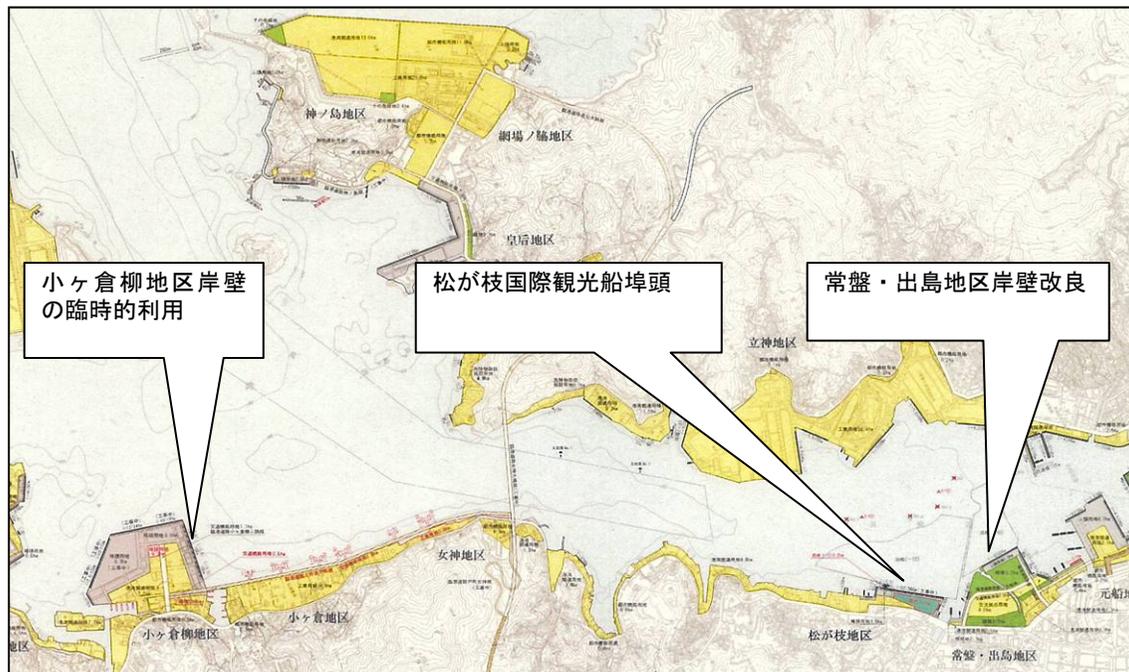
佐世保市は、日本列島の南端に位置する。佐世保港(佐世保市)は、東アジアとの結び付きを強化するため、水深10m超の国際港を整備する。三浦上屋ターミナルに改修する三浦上屋と改修される岸壁

佐世保市は、日本列島の南端に位置する。佐世保港(佐世保市)は、東アジアとの結び付きを強化するため、水深10m超の国際港を整備する。三浦上屋ターミナルに改修する三浦上屋と改修される岸壁

佐世保市は、日本列島の南端に位置する。佐世保港(佐世保市)は、東アジアとの結び付きを強化するため、水深10m超の国際港を整備する。三浦上屋ターミナルに改修する三浦上屋と改修される岸壁

既存施設の有効活用①(長崎港)

- ◆国際定期旅客船の発着は、国際ターミナルビルがある松が枝国際観光船埠頭を使用する。
- ◆小ヶ倉柳地区の既存倉庫を活用し、臨時的なターミナル機能への改修など、受け入れ体制の整備を行っている。
- ◆常盤・出島岸壁に大型のクルーズ船が接岸できるように、岸壁の付属施設の設置等、改良工事を行うこととしている。



既存施設の有効活用②(佐世保港)

- ◆三浦地区においては2014年(平成26年)春の韓国釜山との国際定期航路開設を目指し、岸壁(-10m)の整備進捗を図っている。
- ◆2025年(平成37年)における中国との国際定期旅客航路の開設についてはハウステンボスに近い、佐世保港浦頭地区にて調整を進めている。



計画実現のための推進体制や行動計画①(長崎港)

- ◆「アジア・国際戦略」にて、県を挙げての取り組みを行っている
- ◆松が枝国際観光船埠頭の複数バース化など、効率的利用に向けた港湾施設の充実を図ることとし、港湾計画の改訂を平成25年3月に行う予定である。



平成23年2月15日
国土政策フォーラムin長崎(上海航路復活)

アジア・国際戦略

- 目的：長い交流の歴史によって培ってきた国際的友好・信頼関係を活かしながら、今後も高い経済成長が見込まれるアジアを中心に海外の活力を取り込み、本県の経済活性化を図る。
- 推進体制
本部 本部長：知事、副本部長：副知事
本部員：関係部局長
幹事会、ワーキングチーム



施策展開の視点

- 本県の活路（アジアの活力を取り込み）
- 本県が持つ優位性の復活（海外との窓口として時代の最先端を担ってきた歴史的優位性をアジアの時代に復活）
- 新アジア軸の構築（上海航路の復活により日中間の多面的な人・もの交流が拡大し新アジア軸が構築、長崎がその日本のゲートウェイとして日中両国での広域的・面的な施策展開を目指す）

取組みテーマ

- 表記視点のもと、「海外からの観光客誘致」「県産品の輸出拡大」など7つの取組みテーマを策定



行動計画の策定（戦略プロジェクト）

- 取組みテーマの実現に向け、9つのプロジェクトを策定
- ①上海航路復活
- ②東アジア重点市場観光客誘致強化
- ③クルーズ客船受入拡大
- ④新規航空路線・国際チャーター便誘致
- ⑤県産品の東アジア輸出拡大
- ⑥対中国ビジネスサポート体制強化
- ⑦孫文・梅屋庄吉と長崎
- ⑧国際人材活用・育成
- ⑨アジアの環境問題への貢献

計画実現のための推進体制や行動計画②(佐世保港)

- 東アジアの成長力を、本市へも取り込むため戦略的・体系的な取り組みをとりまとめた「佐世保市国際戦略活動指針」を策定
- 韓国・中国へのトップセールスを積極的に展開
- 本活動指針のもと「佐世保市外国人観光客ウェルカム協議会」を設置し、官民が連携して受入態勢の整備や観光PRを実施

